

しみずの教育 ちよつといい話

【平成30年4月号】

清水小学校

校長 高井正樹

新1年生51名を迎え、新たな1年がスタート！



4月9日（月）、51名のピカピカの新1年生を迎え、平成30年度の清水小学校の教育活動がスタートしました。

306名の子どもたち一人一人が、「笑顔で登校、笑顔で下校、明日も行きたくなる学校」になるように、教職員一同、心を一つにして教育活動に取り組んでいきます。

6年生のやさしさ

入学したばかりの1年生は、初めの1週間、午前の3時間授業で下校しました。お昼を過ぎ、静かな1年生の教室には、給食を終えた6年生が次々と現れ、黙々と掃除を始めていきました。「1年生が明日も気持ち良く勉強できるように」という思いを込めて一生懸命掃除をする6年生の姿から、あふれんばかりの優しさを感じられました。



5年生の頼もしさ

入学式の準備では、前の週に登校してきた6年生がキビキビとした動きで働いてくれましたが、後片付けでは5年生が大活躍しました。体育館の飾りはずしたり、長机や椅子、ひな壇を片付けてくれたり、短い時間で手際よく行ってくれました。高学年になった意気込みと頼もしさを感じる素晴らしい動きでした。



新1年生19名のご入学 おめでとう！



校長 真下 正 則

4月9日（月）に19名の新1年生を迎え、ご来賓・保護者の皆様のご臨席をいただき、全校児童・職員とともに心温まる入学式を行いました。式辞の後、三澤教育長職務代理様、



【新1年生（教室でのようす）】

田中PTA会長様、そして、山本児童会長さんからもお祝いの言葉がありました。1年生の皆さんは、緊張しつつも大変立派な態度でお話を聞くことができていました。

翌朝からは6年生のお世話のもと、御影小学校での生活が始まります。朝は元気に「おはよう」の挨拶ができ、そして授業中はしっかり先生のお話を聞き、大きく成長してくれることを期待しています。



ご進級 おめでとう！129名でスタート

2～6年生も進級した喜びと新たな抱負を胸に新学期を迎えました。

子どもたちの元気な声も学校に響き、活気がもどりました。そして、転入生1名が加わり、**全校児童129名、職員21名**で開校102年目の教育活動がスタートしました。

保護者・地域の皆様のご協力をいただきながら、指導の充実を図って参りたいと考えております。



【新6年生による入学準備】

今年度も、基礎学力の定着と健やかでたくましい心身の育成と、人とのかかわりを通して知恵や技を学ぶことを重点に取組みます。そして、「表情豊かで、ねばり強く学ぶ子ども」を育て、その変容を保護者・教職員が実感できることをめざしていきます。

教育は学校だけでは効果があがりません。家庭・地域・学校がそれぞれの教育力を充分発揮し、さらに相互補完することが大切であると考えます。今年一年間学校でできることを精一杯努力いたします。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

感性あふれ、表情豊かに六華をまとう

校長 宝 輪 博 継

まだ時折、冷たい雨が降ったり雪片が舞うこともあります。日差しには紛れもない春の気配が感じられるようになりました。テニスコートは、まだてん圧を待っているものの、野球・サッカー・陸上競技の各部活動は、グラウンドでの練習を再開しました。昨秋、生徒たちが学校花壇に植えてくれたチューリップの球根も、厳しかった冬を越えて、青々とした芽を力強く伸ばしています。

この春、54名の卒業生と3名の教職員を送り出し、52名の新生入生と4名の教職員を迎えて、平成30年度の清水中学校の教育活動を開始しました。季節はゆっくりと、着実に移り変わっていくものですが、学校の日々はそうはいきません。3年生は17日(火)に全国学力・学習状況調査、翌18日(水)から3泊4日で函館・宮城への修学旅行に出かけます。2年生は中堅学年として、あらゆる活動の推進役を務めますから、まずは来月末の体育祭に照準を合わせ、クラス替えをした新しい仲間とともに動き始めました。1年生は言わずもがな。日々、教科により先生が替わる授業、学級組織作り、生徒会への入会、部活動の見学・入部、13日(金)には小学校での学習の定着状況を確認するため、学力テストを行いました。

めまぐるしい日々。スタートダッシュ。

しかし闇雲に様々な活動に取り組んでいる訳ではありません。教職員ばかりでなく、生徒一人一人も共通の目標、めざすイメージを持って、すべての活動をそこに収れんしていくことで、初めて清水中学校の教育、清中生らしさが育まれていきます。

今年の本校教育の目指す姿を「感性あふれ、表情豊かに六華をまとう生徒」としました。

「表情」については、これまでも大切に考えてきました。生徒の学びの姿は、何より生徒の表情に表れます。喜びも感動も、意欲も熱意も、困惑も落胆も、そして感謝も。教育の場では、数値では決して測ることのできないそうした学びの姿を、表情や仕草、たたくまいから捕らえることがとても大切だと信じていますし、清中生らしい輝く表情で日々を送らせていと願っています。

そこに今年は「感性」を加えました。感性とは五感で感じる力。美しいものを美しいと感じたり、様々な出来事や物語に感動したりする力です。もちろん第九の町の中学生ですからこれまでどおり、合唱活動に力を入れていくつもりですが、感性は文化・芸術の話だけではありません。

たとえば廊下に落ちているゴミに気づく力。困っている人やいじめで苦しんでいる人の心を想像する力。こうした力も大きくとらえれば感性だと思っています。感じ取る力。これを育てていきたい。

「六華」はもちろん本校創設以来の学校教育目標で、1年生では「健康・協力」。2年生は

「明朗・努力」。3年生は「探究・自学」を中心に、6つをバランス良く身につけなければならないと考えています。

学校は、今年も学校便りや各種通信、公式ブログ、参観日、授業公開週間、各種行事、地域での学習活動、PTA活動など、様々な機会を通して教育活動を公開し、生徒の学びの姿を発信していきたいと考えています。

保護者・地域の皆さんには、これまで同様に、本校の教育活動に対するご理解とご支援を、よろしくお願いいたします。

御影中学校

「72色から一つの作品」を完成させよう

校長 塚原 雄二

陽光がきらめき、草花の息吹とともに躍動感あふれる季節が訪れています。平成30年度の御影中学校は、25名の新1年生を迎え、全校生徒72名、教職員18名で希望に満ちた新学期をスタートさせました。今年度も教職員一同、子どもたちのために心をつなにし、様々な教育活動に全力で臨んでいきたいと思えます。

4月9日（月）の入学式に全校生徒に『自分のカラーを生かす』という話をしました。『自分のカラーを生かす』とは次のようなことです。

私たちは考え方や好みなどが一人一人みんなそれぞれ違っているように、皆さんは一人一人違う色を持っています。例えば、爽快感を味わわせてくれる人は「青色」、ほんのりとした暖かみを感じさせてくれる人は「黄色」、心を熱くしてくれる人は「赤色」というように、それぞれが違う色を持っていると言えます。さらに、そばにいと落ち着きを感じさせてくれる人は「緑色」をもった人と考えることができます。

絵の具では、「青色」と「黄色」が混ざると「緑色」ができます。このように人の場合も「青色」の人柄の人が「黄色」の人柄の人と触れ合ったことにより、「緑色」の人柄になると考えられないでしょうか。複数の色が混ざり合い、新たな色が生まれるように、私たち人間も、いろいろな人と触れ合うことにより、変化し成長していくことができるのです。

また、希望の色を創り出すには、混ぜる色の種類や量の工夫、さらに何度も失敗をくり返し、根気よく続けるということが必要なのです。それはちょうど全校生徒72人から72色の絵の具を使って、一つの作品を描いているようなものと言えます。是非、平成30年度



は72という数字にこだわって、72人が協力し合い、御影中学校で一枚のすばらしい絵が年度末に完成するようなそんな学校になればと考えています。

「つながり」の中で～総合学科第 22 回入学式を挙行

校長 平野道雄

卒業式は季節外れの大雪となりましたが、入学式は、風は冷たいながらも柔らかな春の日差しに包まれた4月10日(火)に本校体育館で挙行されました。阿部町長ほか11名のご来賓や、たくさんの保護者の皆さまに参加いただき、97名の新入生が入学しました。

新入生を代表して新得中出身の榎 夕理愛さんが立派に宣誓し、2・3年次生の有志による校歌披露が行われました。

今年度の本校は「つながり」をキーワードに、様々な教育活動の充実を図ることとしており、1年次生には入学式で、2・3年次生には前日の始業式で校長から話したところです。

そうした中、先日、本校全日制普通科第19回(昭和42年)の卒業生から、本校図書室への本の寄贈がありました。その方からは、当時の図書館の様子や、読書を通じた先生との心温まる交流の思い出などもお聞きし、世代を超えた本校との「つながり」を感じました。

また、少し遡りますが、毎月19日の“しみず「読書の日」”に合わせ、3月19日(月)に、本校の朝学習に「読書」の時間を取り入れたところ、生徒からも「読書のきっかけとなった」など大変好評だったことから、今年度は朝学習のメニューに読書の期間を設けることになりました。日程の関係で毎月19日とはなりません、地域の取組が本校の読書活動に「つながり」ました。

私たちは、人と人とのつながり、地域とのつながり、学びのつながり、時間のつながり・・・など様々なつながりの中で生きています。そのつながりを再確認し、これまで以上にそれぞれのつながりを大切にしながら子どもたちを成長させることで、地域の期待に応え、地域に貢献できる学校づくりを一層進めてまいりたいと考えております。

保護者や地域の方々には、これまでのご理解とご協力に感謝申し上げますとともに、より一層のご支援をいただきますよう、よろしくお願いいたします。



【新入生代表による宣誓】

第41回入園、進級式

天候に恵まれたなか第41回清水幼稚園入園式を行いました。

11名の年少さんが新入園児として保護者に手を引かれ、緊張と不安の中での入場でした。子どもたちにとって、初めての行事体験でしたが、式の最後まで椅子に座って良くがんばりました。

また、さくら組とばら組に進級した在園児のお話を聞く姿勢と態度は、本当に立派でした。今年度初めての登園にもかかわらず、話をする人の顔を見て、集中して聞き、あいさつや返事も大きな声で出来ました。

13日（金）には年少組が園内探検をしました。お母さんと離れるのがつらくて泣いていた子も、少しずつ幼稚園での生活にもなれ、先生のお話を聞いて行動できるようになってきています。



平成30年度

清水幼稚園の経営方針

◎園児目標

- げんきに あそぼう
- やさしい ところをもとう
- がんばって やりとげよう

◎目指す幼稚園像と教師像～開かれた幼稚園～

- 園児にとって楽しい幼稚園
- 保護者や地域に信頼される幼稚園
- 園児に慕われる教師

◎重点目標 <いきいき のびのび 子どもの笑顔あふれる幼稚園>

◎重点課題

- 家庭・地域と共に歩み共に進める開かれた幼稚園づくり
- きらきら笑顔かがやき、あたたかくかわりあえる力を育てる
- のびのび自分を発揮し、すすすすこやかな心身を育てる
- いきいき人や自然とかかわりあえる豊かな環境づくりの充実

愛のあるしつけ6か条

- 1 早寝、早起き、朝ごはん
- 2 あいさつ；家の中は練習場、外は晴れ舞台
- 3 時間を守る
- 4 会話；目を見て、真剣に向き合っ
て
- 5 良く遊ばせる
- 6 ルール、マナーを教える
—集団生活—

町内の子どもたちの姿をご覧ください

清水町は、「心響」を教育理念とし、しみず「教育の四季」を実践指標として、心を通わせ、互いに響き合う感性豊かな教育を推進しています。

「ちょっといい話」は、開かれた学校の取組の一環として、町内の幼稚園・保育所、小学校、中学校、高校の特色ある教育活動や子どもたちの頑張りや心温まるエピソード等を紹介するものです。

今年度もみなさま方に広く情報を発信して参りますので、ちょっと時間をさいてお読みいただければ幸いに存じます。

ご感想等がございましたら、下記Eメールにお寄せいただければ幸いです。

Eメール：sidoukan@town.shimizu.hokkaido.jp

(教育指導幹 清水 彦一)



家庭・学校・地域が連携して町民総ぐるみで「12の窓」から
感性あふれ、表情豊かな子を育てる

春～さわやかな風の中で 元気に力強く

家庭・学校・地域

今月の取組

家庭は、行ってらっしゃい

背中に声かけ

地域は、子どもの安全

見守ろう